

第 15 回 よこはまウォーキングポイント共同事業者選定等委員会 会議録	
日 時	令和 3 年 7 月 15 日 (木) 9 時 00 分～11 時 00 分
開 催 場 所	市庁舎 18 階 みなと 6・7 会議室
出 席 者	【委員 5 名】岡村委員、蟹澤委員、澤田委員、田口委員、守分委員
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部非公開 (傍聴者 0 名)
議 題	<p>1 委員長の互選について 公開</p> <p>2 よこはまウォーキングポイント事業の第 3 期における共同事業者の選定等について</p> <p>(1) 第 2 期 (平成 30～令和 3 年度) の事業評価及び 4 年度以降の展開について 公開</p> <p>(2) 第 3 期の共同事業者の選定について 非公開</p> <p>3 令和 2 年度利用状況報告書について 公開</p> <p>4 その他</p>
議事要旨	
【はじめに】	
事務局	事務局よりあいさつ (健康福祉局 嘉代健康安全部健康推進担当部長) 委員の紹介 事務局・共同事業者の紹介 定足数の確認 委員 5 名全員が出席のため、定足数を満たし委員会が成立していることを確認
【議題 1 委員長の互選について】	
事務局	委員長の互選 委員の互選により委員長を岡村委員に決定
委員長	委員長代理者の指名 委員長の指名により委員長代理者を澤田委員に決定
【議題 2 よこはまウォーキングポイント事業の第 3 期における共同事業者の選定等について】 (1) 第 2 期 (平成 30～令和 3 年度) の事業評価及び 4 年度以降の展開について	
事務局	【報告】 資料 1 について説明。
岡村委員長	この規模でやっている自治体はあまりないと思います。この人数が参加されている事業を続けられているということは良いことだと思いますし、事業効果をきちんと検証しながら、それが割と保守的というか、単純に過大に良く見せようとするのではなく、きちんと (効果を) 科学的に評価されているということを感じました。 そこで、職域の方は事業所参加ができるかと思いますが、働き盛りの世代は、自治体よりも職場への帰属意識が強いので、事業所参加をこれから増やしていくための働きかけはどのようなものを想定されていますか。
事務局	健康経営に取り組んでいただく企業を募集する中で、事業所参加数は増えていきます。民間企業や団体と包括連携協定を結んでおり、例えば日頃の保険の営業活動を

	<p>行っていただくリンクワーカー活動の中で、情報を広げていただきご参加いただける企業が増えているといった状況となっております。コロナ禍においても最低限の健康づくりは行っていく必要があると考えておりますので、インセンティブを付けたキャンペーンであるとか、一緒に歩く必要はありませんが、アプリ参加者でチームを組んでウォーキングに取り組んでいただく企画を考えております。本市の健康経営の担当と連携しながら、こういった企画を周知広報していきたいということを考えています。</p>
岡村委員長	<p>職場のひと時を写真投稿してもらうなど、そういう継続支援（が必要）で、（アプリには）おすすすめスポットの写真投稿があります。病気になるためというだけではしんどく、何か楽しみがないと何のためにやるのか分からないので、ぜひその連携を引き続き続けていただき、職場の方にも、そこを取り上げていただけないかというところです。</p>
事務局	<p>はい。ぜひ、連携していきます。</p>
澤田委員	<p>効果を出されていて素晴らしいと思います。 （参加登録者数）40 万人を目指されているということで、事業の認知度とそれに対する市民の方の好感度というのはどのような状況なのでしょう。認知や好感度の状況を定期的に調べられているのでしょうか。</p>
事務局	<p>横浜市の事業の中では、（知名度が）ある方だとは思っております。ただ、やはり日々この事業に携わっていると、まだ知らない方がいらっしゃるのも事実ですので、新規参加促進のところで広報をしっかりとやる必要があると考えております。市の方でも、LINE や、Facebook、Twitter のアカウントを保有しておりますので、「コロナ禍の健康づくりに」といったアピールはさせていただいております。また、がん検診の情報を通知する際にも、チラシを入れる等、チラシや SNS 等を使いながら努力しています。</p>
守分委員	<p>私共の団体では、事業開始から参加しているのですが、その時に参加した方が継続しているのかということも、考えていかなければいけないと思います。時々、団体でウォーキングイベントを実施するのですが、その際に参加者の歩数計保有状況を見ると最初のころに比べて熱が冷めてきている印象を受けます。有意義に PR できる、継続してもらえような仕組みも必要なのではないかと思います。</p>
事務局	<p>継続参加されている方々の情報も確認しておりますが、全体から見ると少し（利用率が）下がってきてしまっているのは事実です。 歩数計の故障により参加を続けていない方もいるので、（歩数計の）再購入の手続きを簡素化し改善しております。アプリの方は、企画等も立てやすく、写真投稿機能等もあるので、楽しみながらやっていただきたいと考えております。なかなか続かない方もいらっしゃるの、私共としては引き続き働きかけていく必要があると考えています。</p>
蟹澤委員	<p>保健活動推進員です。（保健活動推進員会も）事業開始当初から、参加しておりますが、委嘱の委員のため、2 年ごとに委員の改選があります。継続している方もおりますが、新しく（委員に）なった方が 3 分の 1 おりますので、よこはまウォー</p>

	<p>キングポイントがどのような事業なのか、伝えていきたいと思います。</p> <p>そこで、この（コロナの）時期ですののでできないですが、イベントなどで（よこはまウォーキングポイントを）知らせていきたいと思っています。アプリの方が機能は充実していますが、そこまで使いこなせていない方もいらっしゃると思います。機能を説明しながら進めていきたいなと思っておりまして、わかりやすい説明資料等があるといいと思います。</p>
事務局	<p>アプリにある機能の使い方がわからないという声もあるかと思っておりますので、（アプリを）最初に登録されたときに、機能のご紹介を画面上でご案内するといったことを検討しております。アプリの機能をまずはご理解いただいたうえで、色々な企画を実施してまいりたいと考えておりますので、周知をしっかりと行い継続して利用いただけるように進めてまいります。</p>
澤田委員	<p>先ほどの認知度にも絡んでくるのですが、令和 4 年度以降の事業展開で、コロナ禍の健康づくりとしても有用だと思えます。世の中の動きが次の展開に入っているため、新しい生活様式、あるいはアフターコロナとよこはまウォーキングポイントといった、少し目先を変えろということも必要だと思えます。そのタイミングで、市として良い取組をしていると認識してもらおうチャンスにしていればと思います。</p>
(2) 第 3 期の共同事業者の選定について	
	非公開＜資料 2～3＞
【議題 3 令和 2 年度利用状況報告書について】	
事務局	<p>【報告】</p> <p>資料 4 について説明</p>
田口委員	<p>評価をきちんとされていて素晴らしいと思いつつ伺っていましたが、指標は新規参加のところで 30 万人から 40 万人ということですが、実際に継続されている方がどの程度いらっしゃるかというようなデータはお持ちでしょうか。</p>
事務局	<p>報告書の 2 ページ目のところで、毎年の統計データを使っております、それぞれ参加期間は異なりますが、参加いただいている全期間の中で 8 割以上の月で歩数データがある方を継続利用者と定義しております、その人数割合を調査しています。歩数計では 24.4%、アプリは 49.4%で 5 割に近い方が継続的にご利用いただいている状況です。</p>
田口委員	<p>継続の推移をみていくのもすごく大事な事かと思うので、参加者総数ではなく、このあたりを指標にしていくことが、今後の展開としては大事だと思います。また、継続をねらっているということであれば、継続できない方の要因を探ると、今後の展開が見えてくるのではと思いました。</p>
事務局	<p>継続いただいている方の測り方は色々あると思いますので、検討していきたいと思っています。いずれにしても、どれだけの方に利用いただけているのかという指標は追ってきたいと思っています。</p> <p>歩数計を辞められる理由として、歩数計が壊れてしまった、電池が切れてしまった、ご自身の大体の歩数が把握できた、アプリへ移行した等アンケートの結果によ</p>

	<p>り把握しております。アプリは（継続利用率が）50%ぐらいになっておりますが、歩数計は、今申し上げた要因のほかに、事業開始当初から参加いただいていた高齢の方が、歩けなくなることや、亡くなられてしまっている方がいるのも事実です。そのため、指標として下がってしまうのは若干致し方ないと考えておりますが、（継続利用率が）下がらないように、また継続利用者に引き続きご利用いただくための取組は、しっかりやっていく必要があると考えております。</p>
田口委員	<p>その分新規参加される方もいらっしゃると思いますので、（継続利用者）が伸びてくる要因はあると思います。どこにターゲットを置くのかということもすごく大事かと思えます。全体（参加者）を増やしていくのか、既存参加者を減らさず機能を充実させて継続いただけるように力を入れていくのか、そのあたりも、今後、長く事業を続けていく上では検討が必要なのではと思います。</p>
岡村委員長	<p>田口委員のおっしゃられた件に絡みますが、参加してから何年の間といった指標も今後重要なのではと思います。（評価期間については）長い年数で見ることが必ずしも良いことではなく、例えば 10 年で見ると、参加者も年齢を重ねて歩数が落ちてくるといったことになると思います。時々（評価期間）が長い方がいいのではないかという意見をいただきますが、通常、10 年も経つと健康関連のデータはよくなりません。評価指標として、新規参入者で継続利用されている方の時間的な推移は絡んでくると思います。またそれは、（よこはまウォーキングポイント共同事業者選定等委員会で）ご相談いただくということでもいいですし、個別にご相談いただいてもよろしいかと思えますので、また（適切な）評価指標、（評価期間）を考えていただければと思います。</p>
<p>【議題 4 その他】</p>	
岡村委員長	<p>健康な横浜市民がより多く増えていくことが大切だと思いますので、そこに向かって進めていければと思っております。</p> <p>それではこれもちまして第 15 回よこはまウォーキングポイント共同事業者選定等委員会を終了いたします。</p> <p>長時間お疲れ様でしたありがとうございました。</p>

以上